

平成17年度 福利厚生事業計画表

事業名	募集予定	参加費	開催日	実施場所・備考
第37回 ソフトボール大会	600人	1,000円	平成17年5月19日(木)	舞洲スポーツアイランド 運動広場
第55回 従事者激励会	1,000人	無 料	平成17年6月17日(金)	大阪「松竹座」美空ひばり十七回忌追悼公演
第13回 従事者ゴルフコンペ	100人	10,000円	平成17年 8月 予定	レイクフォレストリゾート ゴルフクラブ
観劇の招待	800人	無 料	平成17年9月～11月	吉本新喜劇の招待(50歳以上の会員)
第27回 軟式野球大会	300人	1,000円	平成17年9月15日(木)	舞洲スポーツアイランド 運動広場
第30回 バレーボール大会	300人	1,000円	平成17年11月13日(日)	大阪府立体育館
第31回 施設従事者体育祭	2,000人	無 料	平成17年10月1日(土)	枚方松下電器体育館
海外小旅行 ＜カナダ バンクーバー＞ 長期在会者対象(在会11年以上)	対象者100人 家 族100人	60,000円 110,000円	①平成17年11月16日(水)出発 ②平成17年11月17日(木)出発	カナダ バンクーバーツアー＜6日間＞
プロ野球観戦招待	880人	無 料	平成17年シーズン中	甲子園・大阪ドーム・スカイマークスタジアムの招待
趣味・娯楽に対する補助幹旋 各種チケットの補助幹旋 USJスタジオパス 映画鑑賞のチケット 海遊館の入館券	1,200枚 130,000枚 4,000枚		平成17年度中 平成17年 7月 予定 平成17年 6月・11月 平成17年 6月・11月	大人 4,000円 こども 2,500円 大人 1,000円 こども 500円 大人 1,500円 こども 600円 幼児 200円
障害死亡保険の一括加入	31,500人	無 料	平成17年度中	◎傷害による死亡の場合、保険金20万円を支給 ◎事故により後遺障害(1～5等級)が生じた場合に30万円を支給
介護費用見舞金の給付	100人	無 料	平成17年度中	平成16年4月1日現在、会員本人の2親等以内の同居親族が、要介護と認定された場合に、見舞金として5万円を給付
介護費用見舞金の給付(保険)	31,500人	無 料	平成17年度中	平成16年4月1日以降、会員本人の2親等以内の親族が、同居、別居に関係なく、新たに要介護と認定された場合に、見舞金として5万円を給付
介護費用助成金の給付(保険)				平成16年4月1日以降、会員本人の2親等以内の親族が、同居、別居に関係なく、新たに要介護と認定された場合に、「介護費用見舞金」とは別に、会員が介護費用として負担した費用を、5万円を限度に給付
ミサワリゾート(株)との提携	31,500人	無 料	平成17年度中	直営施設(全国51ヶ所)を会員料金で利用することができる

これからの社会保障制度 第2回

◆災害への備えと老後への備え

2004年は歴史に残る災害の年でした。阪神・淡路大震災から10年を経て、忘れかけていた災害への備えの必要性を改めて感じられた方も多かったと思います。大きな災害はそれまでに蓄積したすべてのものを奪ってしまう危険性があり、自らの復興のためには何かがどのくらい必要であるのかをしっかりとイメージして備えておくことが必要です。では、老後の備えはどうでしょうか。災害とは異なり、老後は間違いなくやってきます。現在35歳の方が月1万円、ボーナス時に5万円の貯蓄をしたとしても、65歳時に蓄えられる金額は660万

円です。運良く2-3%程度の好金利商品を購入できたとしても1000万円程度の貯蓄にしかありません。生活費がかからない高齢者といえども、普通の生活をしていたら3年から5年程度で食いつぶしてしまう金額です。もちろんその時期においても公的年金制度は間違いなく存続していますが、老後の備えの鉄則は一つの方法によらないことです。できるだけ日常生活において意識することなく、様々な方法によって備えをしておくことが大切だと思います。

(神戸市外国語大学教授 品田充儀)

共済会だより

April 2005

Vol.47



平成17年度事業計画決まる

理事会・評議員会(2005.3.25)

＜計画のポイント＞

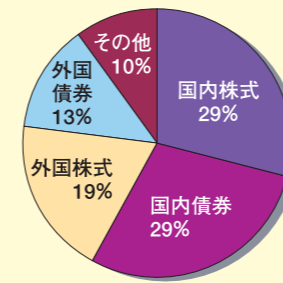
- (1) 平成17年度資産運用計画
- (2) 平成17年度福利厚生事業計画
- (3) 個人情報保護対策(2面に掲載)



(1) 平成17年度資産運用計画

平成17年3月25日開催の理事会・評議員会において、平成17年度の事業計画が承認された。資産運用については、今年度これまでの運用がおおむね堅調だったことから、今後も従来の運用基本方針に基づき、これまでの政策資産配分を継続することとなった。運用委託先も現状のとおりである。

政策資産配分(%)



退職給付積立金の運用委託割合(2005年2月末現在)

委託内容	運用機関	割合
バランス型パッシブ	りそな信託銀行	31.7%
パッシブ計		31.7%
国内株式バリュー	住友信託銀行	6.6%
国内株式グロース	三井アセット信託銀行	6.4%
国内株式市場型	三井アセット信託銀行	6.5%
外国株式市場型	パークレイズ・グローバル・インベスターズ	14.6%
グローバル債券	ベアリング投信投資顧問	26.3%
アクティブ計		60.4%
その他	健全運営貸付金	7.9%
合計		100.0%

(2) 平成17年度福利厚生事業計画

平成15年度の抜本的な制度改正に伴い、福利厚生事業は、会員のニーズ調査のもと、既存事業の廃止を含む見直しと「安心」「癒し」「学び」の3つのテーマから成る新規事業の創設を行ってまいりました。平成15年度に「人間ドックの利用助成」、平成16年度には、「介護費用見舞金の給付」や福利厚生サービスを提供するミサワリゾート株式会社と利用契約を結び、多彩なサービスメニューが利用できるようになりました。

つきましては、改正から3年目を迎える平成17年度は、平成16年度実施しました福利厚生事業を踏襲し、機関紙(共済会だより)やホームページなどの活用を強化し、事業の周知徹底をするなど、利用度を高めるような方策の実施を行い、事業を継続していきます。また、貸付事業につきましては、債権管理体制の強化を図り、円滑な運営を務めてまいります。

事業計画を推進するための平成17年度予算は次の通りです。

17年度収支予算

(単位:千円)

収入		支出	
掛金・入金収入	3,102,452	退職給付事業支出	4,271,066
補助金	700	福利厚生事業支出	311,352
退職給付金収入	1,950,000	管理費	80,238
貸付金償還金収入	370,000	貸付金支出	283,000
その他	15,080	予備費・その他	42,576
当期収入の合計(A)	5,438,232	当期支出合計(C)	5,438,232
前期繰越収支差額	50,000	当期収支差額(A)-(C)	0
収入計(B)	5,488,232	次期繰越収支差額(B)-(C)	50,000



広報「共済会だより」 第47号
発行日:2005年4月1日



財団法人
大阪民間社会福祉事業
従事者共済会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号
TEL 06-6768-8144 (代表) FAX 06-6768-9362
E-mail info@kyosaikai.or.jp
Homepage http://kyosaikai.or.jp/